

○「福知山市、土佐最適化委員に学ぶ」

(京都府宮津市 上宮津地区連絡会議)(平成31年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月26日(金) 16:00~21:30
- 場 所: 宮津市上宮津集会所
- 出 席 者: 関野委員、細見推進委員
地元住民30人、市1人、事務局1人
※委員2人、委員以外32人
- 報 告 者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 山田(7区)、喜多(5区)、今福(2区)で構成される地域
- 大江山から市街地にかけての宮津市の中でも大きな面積と耕地に恵まれている 農家数106戸
- 水稻が中心で、ブドウ・採種・コギクなどの栽培が行われている 耕地60.14ha

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 福知山市農業委員会の土佐祐司農地利用最適化推進委員を招き、地域活性化の手法を学ぶ
講演「三和町川合地区活性化の取組 ～美しいふるさとを守ろう～」
※取組経緯、活性化の内容、農事組合法人かわいの概要
※取組の特徴 地域が存続するために今何をするのか、充て職を多用しない、地域取組の一本化
農業者、非農家、大きな集落・限界集落の区別をしない
※今後の課題 守る農地と守り切れない農地の線引き、廃校活用、移住希望者への住宅提供 等
- 今後の上宮津地区の活性化を考えるうえで非常に参考になった



4 活動結果

- 情報・意見交換 5.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援